鏡野町大納涼祭

—あなたの花を咲かせましょう—

8月5日（土）鏡野町大納涼祭がみずの郷奥津湖周辺で開催され、町内外から4300人（主催者発表）が来場し、会場周辺は多くの観客で賑わいました。

会場には様々な体験ブースが設けられており、アクアボールやミニ手漕ぎボートのブースには、順番を待つ子どもたちの長蛇の列ができていました。

息の合った踊りを披露するソーラン鏡野

アクアボールと手漕ぎボートを楽しむ子どもたち

オープニングセレモニー後の特設ステージでは、ソーラン鏡野による踊りやビンゴゲームがおこなわれ、会場は大いに盛り上がりました。

今年の花火は「素晴らしき、かがみの」をテーマとして第1景・第2景・第3景の3部構成となっており、5180発の大小様々な花火が打ち上げられ、美しい花火が鏡野町の夜空を彩りました。

また、小休憩では町内の小学生から募集したメッセージが読み上げられ、「保育士になりたい」「シェフになりたい」という将来の夢や「鏡野町の自然が大好き！」という鏡野町への思いなど、様々なメッセージが紹介されました。

第1景から第3景までどれも素晴らしい花火でしたが、特に第3景のフィナーレでは、観客から一際大きな歓声と拍手が起こり今年の鏡野町大納涼祭も大盛況の内に終了しました。

たくさんの花火が夏の夜空を彩りました